

「歩くロボット作り」挑戦 九工大 小中学生10人が参加



ブロック型ロボットを熱心に作る子ども

飯塚市川津の九州工業大飯塚キャンパスで18日、科学教室「歩くロボット作り」があった。県内の小中学生10人が参加し、ものづくりの楽しさに触れた。

援センター飯塚分室(宮野英次室長)が企画した。子どもたちは、同大の技術専門職員や情報工学部の学生らに指導を受けながら、部品や動く仕組みなどの基本を学んだ。その後、実際にブロックを組み立て

おとうと、同大の理数教育支

援センター飯塚分室(宮野英次室長)が企画した。

ながら、音や光などで作動するようにパソコンを使ってプログラムを作成。二足歩行や四足歩行など、オリジナルのロボットを作った。

理科の実験が好きという直方市立上頓野小4年の大庭涼君(10)は両親と姉と参加。「プログラムは少し難しかったけど、組み立てるところは面白かった」と笑顔を見せた。(浜口妙華)